

機能一覧

| 分類 | 機能名 | No | 機能概要 |
|---------|------------|----|---|
| 共通 | 基本機能 | 1 | 今後のOS、Webブラウザのバージョンアップやアップグレードに対応できること。 |
| | | 2 | WEBアプリケーションシステムであり、クライアントPCにはインストール作業が不要であること。 |
| | 帳票出力全般 | 3 | 帳票は、全てExcelに出力でき、文字や絵の貼り付けができること。なお、出力データは単にシートへのイメージ貼り付けではなく、罫線及びセルへのデータ出力により、帳票としてそのまま印刷できること。 |
| | | 4 | 出力帳票の用紙サイズ・タイトル・出力項目の変更・追加、レイアウト等は、施設の規模等に応じて設定できること。 |
| | 操作性 | 5 | 単独調理校方式、共同調理場方式のどちらにも対応できるシステムを基本とし、方式ごとの独自機能を除き、操作性が共通していること。 |
| | | 6 | 視認性が高い画面構成及び処理機能表示を備え、直感的な操作が行えること。 |
| | 利用者管理 | 7 | ログイン時にID・パスワードによる認証により、利用制限が行えること。 |
| | | 8 | 管理者と操作者はID・パスワードで管理でき、パスワードを任意に設定・変更できること。 |
| | | 9 | 管理者と操作者等別に使用できる機能を制限できること。 |
| | バックアップ | 10 | バックアップが取得できること(自動・手動)。また、バックアップデータからの復旧が容易であること。 |
| | | 11 | バックアップデータについては、暗号化等のセキュリティ対策を行うこと。 |
| | アクセス記録等の取得 | 12 | システムへのアクセス情報を記録し、操作履歴の検索が可能であること。 |
| マスタ管理機能 | 食品マスタ | 13 | 「日本食品標準成分表(最新版)」に収録されている食品を全て登録しており、栄養価については文部科学省の週報に対応した項目を全て登録していること。また、本市で必要とする項目を追加していること。 |
| | | 14 | 食品成分表名の他に予定献立表用(かな、漢字・かな)及び発注用(漢字・かな)の名称を登録できること。 |
| | | 15 | 廃棄率は本市独自の設定を使用することがあるため変更が可能であること。 |
| | | 16 | 食品衛生法に基づきアレルギー物質が登録されており(特定原材料7品目と特定原材料に準ずるもの21品目)、必要に応じて本市独自に追加が可能であること。また、アレルギー食品のチェック及び拾い出しができ、献立作成に反映されること。 |
| | | 17 | 本市独自の個別の食品分類の登録が可能であること。 |
| | | 18 | 基礎食品群は三群と六群の使い分けが可能なこと。 |
| | | 19 | 加工食品などの食品構成(配合)を登録できること。(50品目程度) |
| | | 20 | 食品の新規登録・複写ができること。また、一食品に対して複数の規格が随時登録でき使用できること。 |
| | | 21 | 食品ごとに見積・入札・発注作業に必要な項目を設定できること。 |
| | | 22 | 規格・銘柄・予定単価及び決定単価を登録できること。 |

| | | |
|----------|----|--|
| | 23 | 発注単位の入力ができ、発注量の端数処理は「四捨五入・切り上げ・切り捨て」の選択可能で、かつ、表示少数桁数の設定ができること。なお、発注単位の登録は任意とし、単位の登録がなくても支障なく作業を行うことができること。 |
| | 24 | 食品名検索・分類検索などが可能なこと。 |
| | 25 | 食品構成の集計において、次の食品については本市が定める換算率を乗じた値で集計すること。主食（小麦粉重量換算〔うどん、中華めん、スパゲッティ等〕）、豆類（乾燥重量換算）、きのこ類（生（戻し）重量換算）、藻類（乾燥重量換算） |
| | 26 | 【給食センターのみ】食品マスターは、全ての学校給食センター分を教育局健康教育課で管理できること。ただし、指定した項目（納品時間、業者名、単価等）については、学校給食センター別に管理できること。 |
| | 27 | 【単独調理校のみ】食品マスターは単独調理校ごとに作成できること。なお、教育局健康教育課で共同購入する食品についてのみ、教育局健康教育課で一括管理するデータを各単独調理校のマスタに反映させることができること。 |
| | 28 | 食品マスターは、給食センター・単独調理校で1つとし、食品番号と栄養価のみ上書きできること。 |
| | 29 | 上記の他、各種機能の実現に必要な項目を食品マスタに登録できること。 |
| 料理マスタ | 30 | 料理分類を任意に登録できること。 |
| | 31 | マスタ登録用の料理名の他に予定献立表用（かな、漢字・かな）の名称を登録できること。 |
| | 32 | 【給食センターのみ】料理マスタは小学校用、中学校用、小学校（アレルギー用）、中学校（アレルギー用）を別々に作成できること。 |
| | 33 | 【単独調理校のみ】料理マスタは単独調理校ごとに作成できること。 |
| | 34 | 料理名や料理分類等により、料理を検索できること。 |
| | 35 | 個数付け、クラス付けの物の登録と指定ができること。 |
| | 36 | 登録済の料理を参照して新規の料理を作成し、献立作成画面で登録することができること。 |
| | 37 | 食器、食缶、器具などを登録できること。ただし、これを登録しなくても作業が進められること。 |
| | 38 | 上記の他、各種機能の実現に必要な項目を料理マスタに登録できること。 |
| 業者マスタ | 39 | 業者ごとの基本情報及び契約食品群コード（仙台市食品規格書の分類記号：A～I）を登録できること。 |
| | 40 | 【単独調理校のみ】業者マスタに登録することなく発注先を直接入力して発注書を発行できること。 |
| | 41 | 上記の他、各種機能の実現に必要な項目を業者マスタに登録できること。 |
| 学校マスタ | 42 | 学校ごとに学校コード、各学年のクラス数、児童生徒数、担任数、その他職員数、特別支援学級の児童生徒数を必要に応じて登録でき、一覧表として出力できること。また、調整食・保存食等をクラスとは別に登録できること。 |
| | 43 | 上記の他、各種機能の実現に必要な項目を学校マスタに登録できること。また、不要となった学校については非表示等とすることで使用できなくすること。 |
| カレンダーマスタ | 44 | 年間の行事予定を学校ごとに登録でき、献立作成を行う日をカレンダーで管理でき、行事予定表を出力することができること。なお、同一学校で食物アレルギー対応等のために複数の献立を作成する場合にも、同じ行事予定が反映されること。また、ブロックごとに全ての学校を一覧にして行事予定表（月別）を出力できること。 |

| | | | |
|------|---------|----|---|
| | | 45 | カレンダーは休日（土曜・日曜・祝日）を自動設定でき、納品日の設定（毎週決まった曜日に納品する設定の場合、その日が休日にあたる場合は、その前後に納品日を設定する等）ができること。 |
| | | 46 | 上記の他、各種機能の実現に必要な項目をカレンダーマスタに登録できること。 |
| 食数管理 | 基本食数設定 | 47 | 各学校の食数、食物アレルギー対象人数、米飯・パン・牛乳の除外人数を必要に応じて登録し、印刷できること。 |
| | | 48 | 食数変更への柔軟な対応ができること。 |
| | 日別食数設定 | 49 | 日別の食数について、一か月分を一覧画面で入力できること。 |
| 献立管理 | 献立作成作業 | 50 | 食物アレルギー対応用献立作成等に使用するため、複数の献立を同時に登録できること。 |
| | | 51 | 料理マスタの料理や過去に実施した献立を基にして献立を作成できること。なお、食物アレルギー対応用の献立を作成する際に、同日の基準献立を複写して作成することができること。 |
| | | 52 | 可食量は、小学校（低学年、中学年、高学年）、中学校などを同時に入力でき、それぞれの係数を入力できること。 |
| | | 53 | 献立作成時に全体の使用材料の発注量を確認でき、献立作成画面でこれを調整しながら、一人あたりの栄養価を確認できること。また、献立作成画面で人数の調整ができること。 |
| | | 54 | 献立作成画面において栄養価及び食品構成、価格の確認ができること。また、献立作成中にそれぞれの栄養価及び食品構成、価格の平均値を確認しながら作業できること。 |
| | | 55 | 献立作成途中に、食物アレルギー項目が含まれている食品を確認できること。 |
| | | 56 | 献立作成時に調理指示コメントの入力ができ、調理指示書に印刷できること。また、調理指示コメントを料理マスタに登録できること。 |
| | | 57 | 行事予定や祝祭日等をあらかじめ登録しておくことにより、献立を立てない日が献立作成時にわかること。また、行事予定は画面上に表示されること。 |
| | | 58 | 予定献立と実施献立を、それぞれ管理できること。 |
| | | 59 | バイキング献立、リザーブ（セレクト）献立、特定の学年・クラスのみを別献立とすること等ができること。なお、この場合、栄養価計算や発注量計算等についても対応できること。 |
| | | 60 | 【給食センターのみ】実施献立ができた後に、1日ずらしたコース別の献立スケジュールが自動作成されること。 |
| | | 61 | 【単独調理校のみ】献立作成画面から食品登録ができること。 |
| | | 62 | 献立作成画面から料理登録ができること。 |
| | | | 献立表 |
| | | 64 | 【単独調理校のみ】日ごとの献立別の栄養価・使用食品名・使用食器食缶・総使用量（予定・実施）、金額（予定・実施）、仕入れ先（業者名）給食人数、食物アレルギー対応人数等を一枚にまとめた表で出力することができること。 |
| | 献立別使用量表 | 65 | 日ごとの献立別物資使用量をコース別の一覧で表示できること。なお、食物アレルギー対応分は別に出力することができること。 |

| | | | |
|-----------|------------------------|----|--|
| | 家庭配布用予定献立表 | 66 | 家庭配布用予定献立表はExcelに出力でき、データを自由に加工することや、余白に記事を追加すること等ができること。 |
| | | 67 | 使用食材のうち表示が必要な食材を、小学校及び特別支援学校については3群に、中学校及び高等学校については6群に分類して表示できること。なお、食材ごとの表示の要否はマスタ等で管理できること。 |
| | | 68 | 家庭配布用予定献立表に表示する食品の表示順位をユーザーが設定できること。また、献立ごとに食材を表示できること。 |
| | | 69 | 日ごとのエネルギー及びたんぱく質の基準量（小学校は3・4年生）を表示できること。なお、特別支援学校については、小学部・中学部及び高等部の2種類を表示できること。 |
| 釜分け管理 | 釜分け表 | 70 | 料理ごとに使用釜数または給食人員を指定して、クラス単位で釜分け表を作成できること。また、釜分け順（釜分けする学校の順）を登録することができること。また、釜分け表に休みの学校が表示されること。 |
| | | 71 | 小学校は低・中・高学年の換算係数で換算人数を算出し、釜分けを行えること。 |
| 食物アレルギー管理 | 食物アレルギー等管理 | 72 | 学校別に食物アレルギー対象者等及び食物アレルギー食品等を管理できること。 |
| | | 73 | 日ごとに、食物アレルギー対象者の献立一覧（ユーザーが指定した食物アレルギー食品にマークを付ける）を出力できること。 |
| | | 74 | 食物アレルギー対応分の献立を複数作成できること。 |
| | | 75 | 食物アレルギー対象者ごとに個別の家庭配布用予定献立表を出力できること。 |
| 見積・入札管理 | 見積・入札処理 | 76 | 納入場所及び契約（納入）期間（月間・年間・半期・任意の期間）を指定し、「契約食品群コード」「業者名」「契約食品群コード及び業者名」のいずれかを指定して給食用物資見積書を出力できること。 |
| | | 77 | 契約（納入）期間が月間以外の食品は、献立作成を行うことなく任意の予定数量を入力して給食用物資見積書を出力できること。なお、入札後は決定単価及び決定金額を食品マスタに登録し、発注時には当該データを反映させた発注書を出力できること。 |
| | | 78 | 見本審査用の食品札が印刷できること。（印刷項目：学校給食センター名、仙台市食品規格書の規格番号、品名、仙台市食品規格書の納品規格（サイズ等）等） |
| | | 79 | 最低価格を自動判定して落札者とする機能を有すること。ただし、必要に応じて最低価格以外の業者を任意に選択して落札者とするができること。 |
| | | 80 | 決定した業者名及び単価を発注データに自動設定できること。 |
| | 給食用物資購入内訳兼入札（見積合）執行状況書 | 81 | 見積金額入力後に、契約食品群コードごとに入札結果（落札価格、決定金額、決定業者・メーカー（産地名）、入札金額、予定単価、予定金額等）を一覧表に出力できること。また、食品ごとに税率（8%、10%）を設定できること。 |
| | 給食材料購入品目及び決定金額（試算表） | 82 | 月ごとの給食材料購入品目及び決定金額の一覧表を、契約（納入）期間別（月間・年間・半期・任意の期間）に出力できること。また、契約（納入）期間ごとの副食及び主食の金額を集計し、給食材料決定金額一覧表として出力できること。 |

| | | | |
|-----------|--------------------|-----|---|
| 発注管理 | 発注処理 | 83 | 作成した献立、食数を基に、日付範囲を指定し、使用する食品毎・使用日毎の使用量を集計した、発注業者ごとの給食用物資発注書を出力できること。なお、集計後の食品毎の発注量は画面上で確認でき、発注量は手動で修正できること。 |
| | | 84 | 給食用物資発注書は、食品ごとに前日納品や曜日指定納品などを設定できること。なお、曜日指定で納品される物資について、納入予定日が休日にあたる場合、その前後の営業日に納品日を指定できること。 |
| | | 85 | 【給食センターのみ】発注書はコース別で料理ごとに出力できること。 |
| | | 86 | 特別献立の食数管理ができ、一部の学校・クラスにのみ適用される場合においても通常献立の発注量と合算して発注できること。 |
| | | 87 | 食数の変更は発注締め切り時まで可能とし、変更人数の増減数（+、-人）で管理できること。 |
| | | 88 | 【給食センターのみ】学校直送品の指定ができること。 |
| | | 89 | 釜分けにあわせて発注量を分割できること。 |
| | | 90 | 給食用物資発注書は、小学校及び中学校をまとめて出力する場合と、別々に出力する場合があるため、いずれにも対応できること。 |
| | 納品チェックリスト （検収簿） | 91 | 発注した食品を検収するための納品チェックリスト（検収簿）を日ごとに一覧表（納品時間帯別・業者名順）として出力できること。なお、検収作業時に必要となる納品規格等のデータの印字及び検収結果等の記入欄（期限表示、品質〔良・不良〕、品温、産地、備考等）を設けること。 |
| | | 92 | 一ヶ月分の食品別物資使用量を日別に表示した一覧表を出力できること。 |
| | | 93 | 在庫品として管理する食品の入在庫を管理できること。 |
| | | 94 | 食材業者毎に集約する・集約しないの選択ができ、支払集計表を出力できること。 |
| | | 94 | 支払集計表 |
| 主食・牛乳発注管理 | 主食・牛乳発注書 | 95 | 食数管理で入力した情報を基に、指定月の学校別のパン・米飯・精白米等・牛乳用発注書を出力できること。 |
| | | 96 | 同日に主食を複数種類発注することができること。（一部の学年のみ違う主食を発注することがあります。） |
| | | 97 | 全校休校で発注無しの場合には、発注数「0」、備考欄に「休校」と表示されること。 |
| | | 98 | 米飯、パン、牛乳の発注先を学校毎に指定できること。 |
| | | 99 | 発注書には、業者名、学校名、コース名、日別の品名・規格・数量（低学年・中学年・高学年別）、学校計（小学校・中学校・合計）、休みのクラス・学年等が印字できること。 |
| | | 100 | 牛乳除外者数、パン及び米飯除外者数の管理ができ、発注書に反映されること。 |
| 報告書作成 | 週報 | 101 | 週報を、文部科学省様式のExcelで作成できること。 |
| | 栄養管理報告書 | 102 | 栄養管理報告書（仙台市様式）を作成できること。報告書には1人1回当たりの平均食材費、食品群別の食品構成及び純使用量、栄養素別の学校給食摂取基準及び給与栄養量等が表示されること。 |
| | 残食管理 | 103 | 残食管理は供給量の総重量（kg）と残食量（kg）の実測値で管理する。また、栄養管理報告書の供食量・残食量・残食率の欄に自動計算した結果が出力されること。 |

| | | | |
|-----------|------------|-----|---|
| 教育局健康教育課用 | データ集計 | 104 | 各学校給食センター及び各単独調理校の各種データを集計し、栄養摂取状況表、栄養摂取集計表、食品類別摂取状況表、食品類別摂取状況集計表、残食状況表（地区別）、単独調理校・給食センター別残食率表、残食量表（学校別）、給食延べ人員表を出力できること。 |
| | 家庭配布用予定献立表 | 105 | 各学校給食センター及び各単独調理校で作成した家庭配布用予定献立表の閲覧及び出力ができること。 |
| | 統計 | 106 | 食材別の契約単価の推移、食材の使用頻度の集計ができること。 |
| | EUC機能 | 107 | 検索条件を指定し、教育局健康教育課の端末でデータの検索、集計が行えるEUC機能を持つこと。（EUC:End User Computing） |
| | | 108 | 次期システムへ移行する際、汎用的なデータ形式で、全件分のデータを出力する機能を有すること。 |